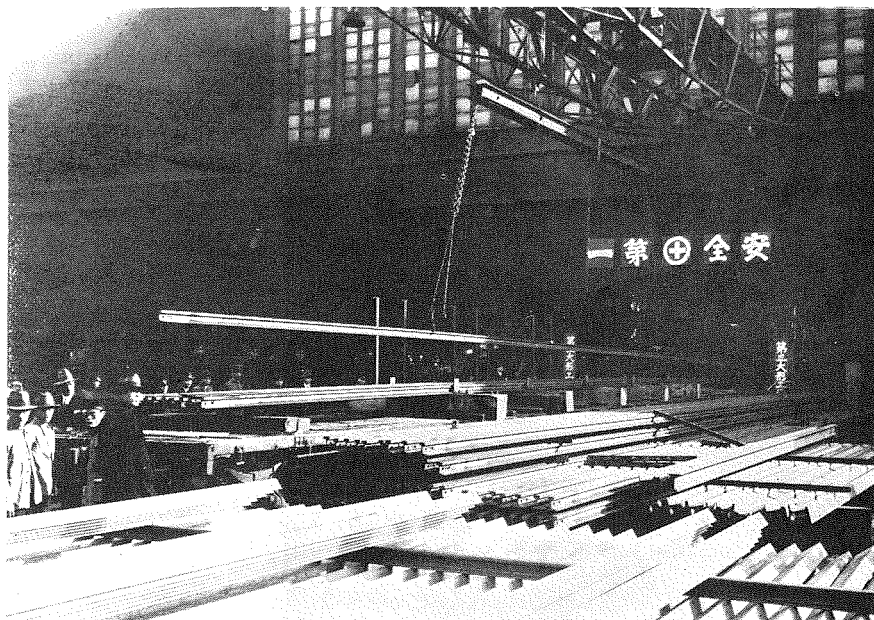
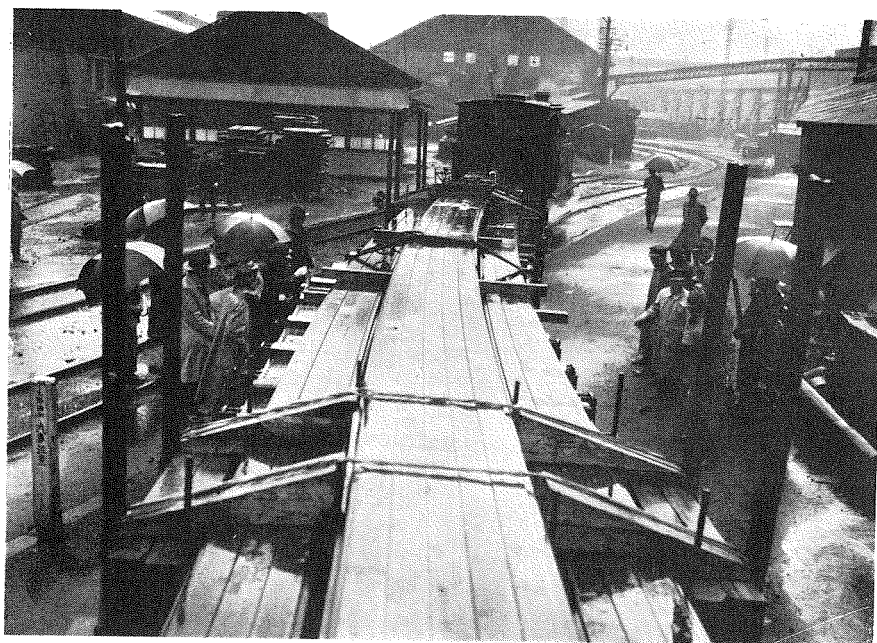


長尺軌條



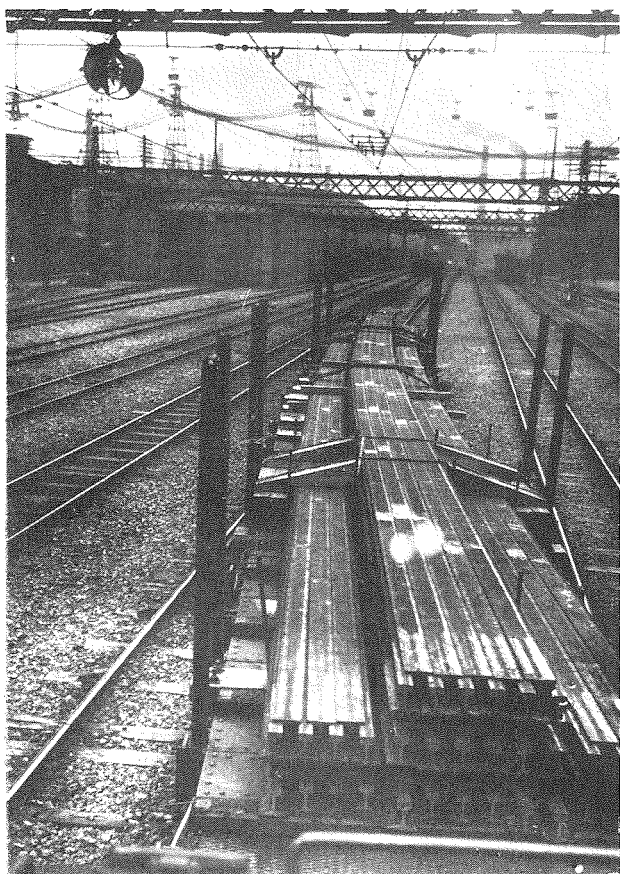
の輸送と更換作業



鐵道省工務局
保線課

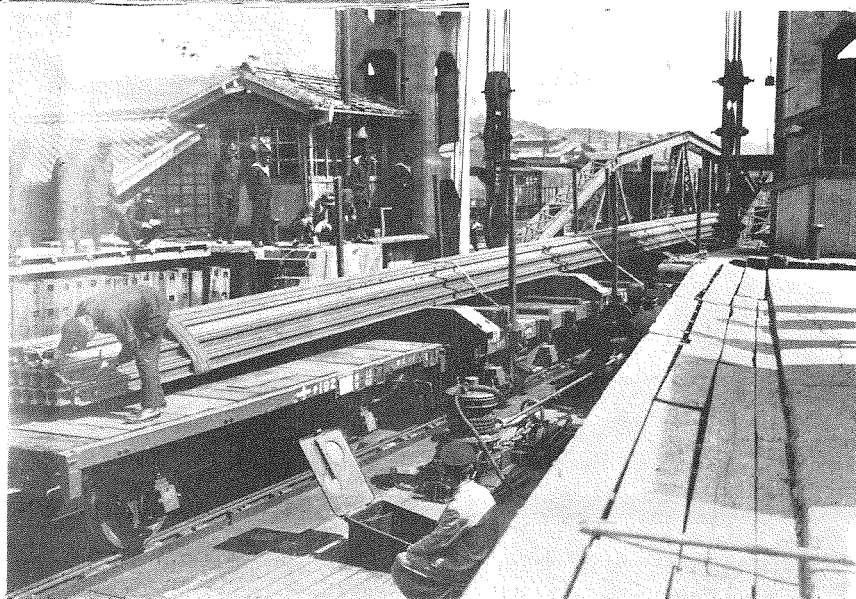
1 八幡製鐵所に於て製作した37疋24米軌條を起重機で貨車に積み込む光景。

2 37疋24米軌條二車懸渡積として六番分岐通過の狀況(八幡製鐵所構内の試運轉)



3 37疋24米軌條を二車懸渡積として八番分岐通過の狀況。速度30軒。

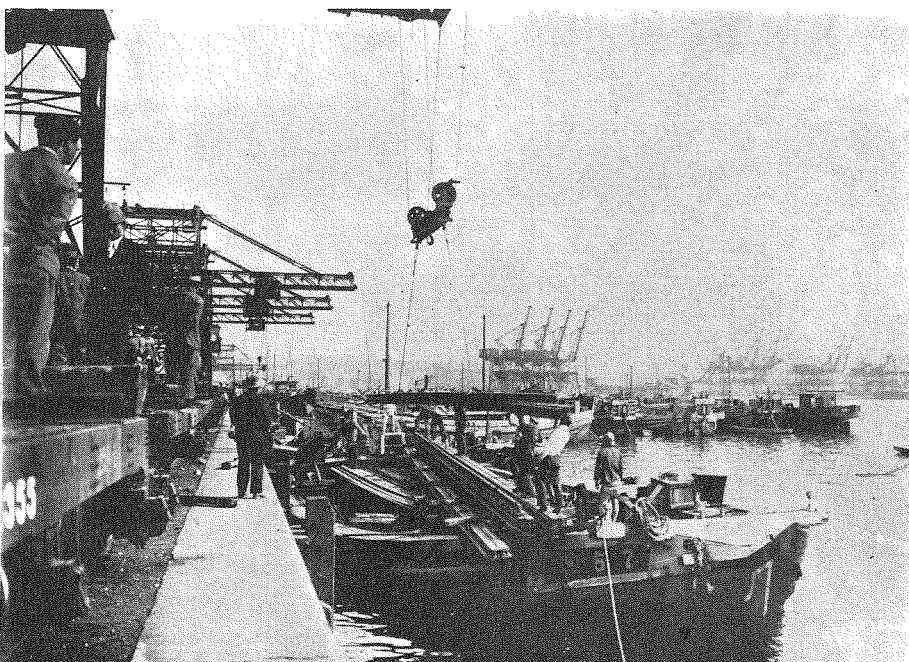
4 37疋24米軌條の關門航送船積込狀況。貨車上受臺の高さを補足したため、航送船積込に際して24米軌條後端と貨車床面との間に相當の間隙があつて接觸せず無事載船が終つた。



移す光景

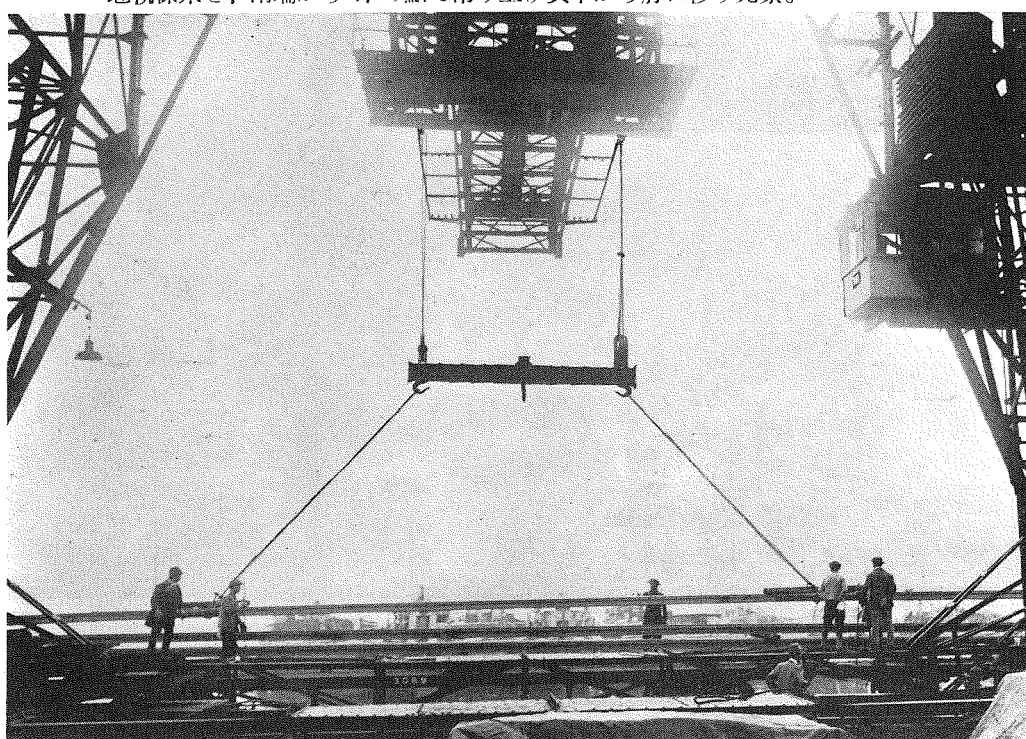
5

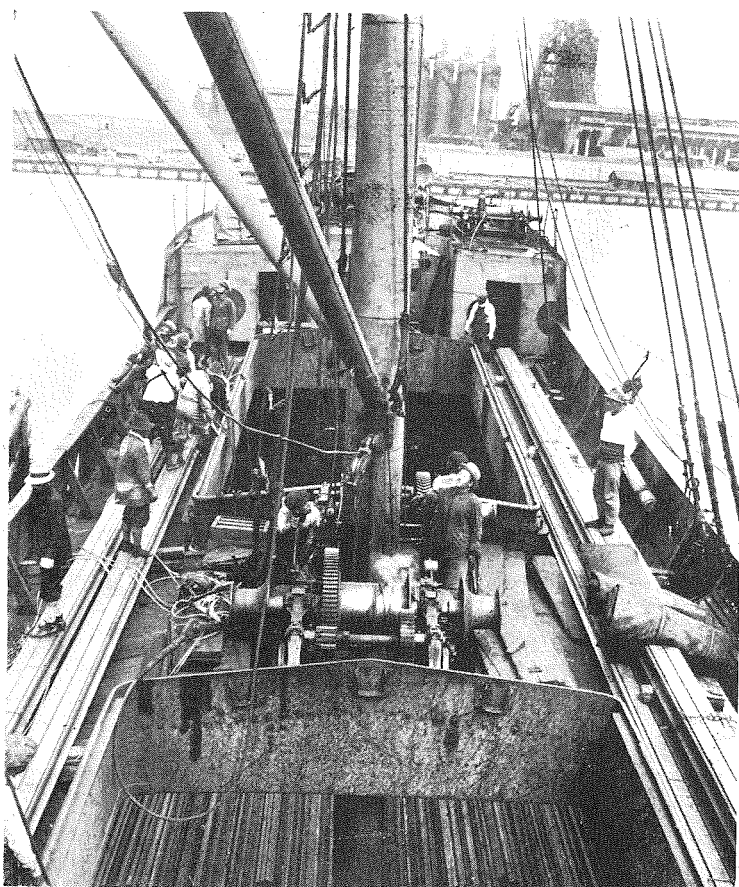
製鐵所岸壁起重機で24米50 軀軌條6本(5本束に1本載せたもので約7 軀2)を吊り上げ貨車から舢に



6

製鐵所岸壁起重機の吊下した4米ビームの兩端から富士山形に吊ローブを張つて24米50 軀軌條束を、兩端から6米の點で吊り上げ貨車から舢に移す光景。





7 八幡港で近海郵船松丸船首兩舷甲板に、24米50疋軌條を積載し終つた光景。

8 同上 本船デリックによつて50疋24米軌條束を舳から吊り上げてゐる状況。舳起重機は本船反對側にあつてこの場合は全く無關係に遊んでゐる。寫眞に書込んである様に本船ブーム端から略正三角形に吊ロープを24米軌條端から約6米の箇所に緊縛して張り渡しウインチで捲き上げてゐるのである。(以下次號)

